

女性の活躍を  
サポートします!

# 女性のチャレンジ通信

vol.2

地域活動や社会活動を始めたい、活動を広げたい、情報が欲しい…!  
そんな女性たちの“チャレンジ”をサポートする場所「女性チャレンジ応援拠点」。  
開室時間は常時女性のコーディネーターや専門スタッフが在室。  
あなたのお話をうかがいます。そんな拠点からお届けする、ニューズレターです。



## ❀ スタッフコラム 「フィールドを拡げて」

さまざまな活用方法で、みなさんにご利用いただいている「女性チャレンジ応援拠点」。ある人は助成金の公募申請書類の記入ポイントを、またある人は自分で開く講座の企画ポイントを、そしてある人は女性管理職としての姿勢について、さまざまな方が相談をしに来られています。拠点のスタッフはもちろん、時にはその場に居合わせた利用者も一緒になって、考え、アイデアを練って、ハッと問題解決のヒントが閃いたりして、みなさんすっきりした表情になり、足取りも軽やかに帰って行かれます。



初めは、おそろおそろ参加したという人も少なくありません。「誰かがいたら帰ろう…」と思っていたという方もおられます。でも、ちょっと足を運んで、チャレンジ応援拠点まできていただければ、“ここは安心して『話せる』場所”なんだ、と分かっていたいただけます。スタッフ一同、そういった場所となるよう心がけています。

一人ひとりの価値観は様々です。何かに「チャレンジ」している当人は、ただ自分の気持ち動き、体も動いただけのことで、自身は特に「すごいことをしているんだ」と感じていないかもしれません。しかし、なかなか行動に移せない人からすると、「すごい！」と感じられていることもあります。

当然、逆の反応もあります。これから何かに「チャレンジしよう！」と思い、周りにいる身近な人たちにその話をした時、相手から「大丈夫?!」と言われてしまったり、時には“そういうことやって何になるの?”という表情で「ふ〜ん」とだけ返されてしまうと、「チャレンジしたい」気持ちは失せてしまいます。

でも、気を取り直しましょう! あなたのやろうとしていることを理解できる、真価を測ることができる人が、身近にいるとは限りません。これまでの行動範囲から少し外へ出てみると、視界がパッと開け、あなたの一步を後押しする場や人が、必ずいます。もちろん「女性チャレンジ応援拠点」もその一つです。

拠点スタッフと、チャレンジ応援拠点で出会う『話せる』仲間が、みなさんの来室をお待ちしています。

あなたにぴったりの活動のしかたを一緒に探していきます。  
まずはお気軽にお越しください!



スタッフ

## 🍀 イベント報告

女性チャレンジ応援拠点では、地域活動や社会活動を始めたい、活動を広げたい女性たちを対象に、ステップアップのきっかけになるようなワークショップや交流会などのイベントを開催しています。

「情報発信が苦手…」 「集客に苦労している」などの声から、ブログやSNSについてのイベントを企画・開催しました！

### ブログで自分発信&引き寄せカアアップSNSのコツ+ランチ交流会

平成 29 年 6 月 24 日 (土曜日) 10 時～12 時 30 分  
会場：クレオ大阪中央  
講師：川辺 友之さん (株式会社NFL代表取締役)

今やSNSは地域で活躍する女性や、何かを始めたい女性にとっても、想いを発信する手段として欠かせない存在になっています。自身もWebを活用することで家業の復活を果たし、今もWebを活用した地域活性化にも力を注ぐ川辺友之さんを講師に迎え、目からウロコの発信のコツを伺いました。

川辺さんはチャレンジ応援拠点にほど近い、大阪谷町の紳士服縫製工場の3代目。数十億の借金を抱えた家業を、ブログやWeb、ネット通販等を活用することで復活させた経験について、また、ブログやネット戦略だけでなく、自分にとってメンターとなる人や仲間との出会いが、大きく影響したことについてもお話いただきました。



ご自身の活動を振り返り、はじめに、目的は何か？を考えた時、まずビジネスや活動のファンやリピーターを多く作ることをめざしたそうです。それができれば、商品やサービスの売り上げ、活動の広がり後は後からついてくる、と川辺さんはおっしゃいます。

情報発信は、毎日続けることが大切。情報発信の癖をつけるためには毎日スマホで写真を撮って、写真についてのブログを書く習慣をつくといいそうです。

ブログを書く際のポイントは、見る人が「どう検索するか」を考える事。「地名」などをタイトルや文章に入れることが記事にヒットしやすくするコツだそうです。



比較的ビジネス寄りになっている「Facebook」、ハッシュタグ検索等で利用者が伸びてきている「Instagram」、匿名ゆえに本音が見える「Twitter」など、SNSにもそれぞれに特徴があり、目的に応じてうまく活用し、それぞれを連携させることが大切とのことでした。そして、無料で1ページのホームページが持てる「ペライチ」の紹介では、参加者の中でも初耳の方が多く、関心が高かったようです。また地域の活性化と資金やファンの獲得、宣伝にも活用できる可能性があるクラウドファンディングのご紹介もありました。最後には、参加者のチャレンジしたい女性たちへ向けた温かい応援メッセージもいただきました。

今回のイベントで学んだことは、すぐに実践できる有益な情報が多く、終了後やランチ交流会でも川辺さんの前には交流したい人が列を作っていました。その一人ひとりに丁寧に接し笑顔でお話されている姿を見て、事業成功の秘訣はネットやSNSの力はもちろん、一人ひとりとの出会いを大切に作る姿勢でもあるのだと思いました。



ランチ交流会の様子。盛り上がりました！

## 🍀 チャレンジの先輩にきく！ 活動を始めるヒントvol.5

### この活動を10年続けて根付かせたい

松永 弥生さん

(一般社団法人痴漢抑止活動センター 代表)



#### 私たちおとながあなたたちを守ります

「これまで特にボランティア活動などもしたことが無かった」という松永さんが、痴漢抑止という社会課題に立ち向かったきっかけは、友人のフェイスブックでした。「娘が、手づくりの痴漢抑止カードをカバンにつけたところ、痴漢にあわなくなった」という投稿を見た瞬間、「いいアイデア！」と思うと同時に「このカードをつけているのがこの子たった一人というのは切ない。仲間がいて欲しい」と感じたといいます。その日のうちに「缶バッジにして広めようよ」と提案し、その1か月後には「Stop痴漢バッジプロジェクト」として活動を開始されました。

痴漢被害にあって一人で悩んでいる女の子たちに「あなたは一人じゃない」「私たち、おとながあなたたちを守ります」と伝え、彼女たちが安心して電車通学・通勤できる社会にすることを目標に、活動されています。



#### 共感を得るためには伝えること

「痴漢抑止バッジ」を作るというアイデアが浮かんだものの、デザインのことも、流通のことも、営業のことも何もわからなかったという松永さん。知り合いに相談する中で、様々な専門家を紹介してもらうことで事業化することができたそうです。

当初「地道にやっていくうちに広がれば」と思っていたのですが、デザインコンテストの開催に協力してくれた会社の取締役から「社会的意義があるのだから、もっと大きく動かないと」と発破をかけられます。経営者としての経験豊かな方からアドバイスを頂けたことは、大きな力になったそうです。

その後、プロジェクトを継続するために一般社団法人を立ち上げ、本業のライターとしてのスキルを活かし、心に訴えかけるメッセージで全国各地の電鉄会社やコンビニ等流通業界に「痴漢抑止バッジ」を広めています。

活動の手法は、共感と理解を育てること。「防止」「撲滅」ではなく、あえて痴漢「抑止」という言葉を選択したことも、男性にも訴求する活動にしたいという思いからだそうです。

#### 実績をつくるために、今が頑張りどき

駅内コンビニなどの販路は広がってきたものの、バッジの売り上げだけでは活動の継続は厳しいというのが実情です。実績を作るためには継続しかありませんので「この2、3年が一番苦しい時」と覚悟して取り組んでおられます。

「ワタシ」がもう一人欲しい！と思う毎日です」と笑う松永さん。「フルタイムでは働けないけれど、1週間に数時間ならできる」という様々なスキルを持った女性たちとつながることができればと期待されています。

#### 始めることを怖がらないで

松永さんは、女性チャレンジ応援拠点を「あたたかな空気で、心を開いて話ができる所ですね」と語ってくれました。これまでも、営業など専門的な相談機関を利用していたそうですが、拠点には社会課題としてどう活動を広めるかについて相談に來られました。

「色々な相談機関でアドバイスを受けながら、『何をやるのか』については自分で決めていきます」。

なにか始めたいという人たちに向けて「始めることが一番大切」とメッセージを頂きました。「こんなに大変だと知っていたら、始めなかったかも。勢いで動き出したことが、一番よかったこと」「もともと存在しなかった活動。上手いかななくて辞めても、前より（世の中が）悪くなるわけではない」と覚悟を決めています。「動きだせばサポートしてくれる人と出会えます。始めることを怖がらないで」と力強いメッセージをいただきました。



一般社団法人痴漢抑止活動センター <http://scbjpn.org/>

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-6-2 大雅ビル10F-242

※松永さんが講師のイベントを開催します！（裏面参照）

### 🍀 イベントのご案内

## PRのための文章講座+発表会&交流会 **参加無料**

仲間や支援者を増やすために、「熱い想いを伝えたい」「もっと活動をPRしたい」と思っているけれど、うまく文章にすることができず、苦勞していませんか？1回目の「PRのための文章講座」では、企画書やプレスリリースにも活用できる、人に「伝わる」文章を作るスキルを学びます。2回目の「発表会&交流会」では、1回目に作成した「活動紹介」をもとに、助成金や支援機関の担当者、メディアの方に向けてご自身の活動やめざしていることについて発表していただき、プロの視点で直接コメントをいただくことができます！



1回目 講師：松永 弥生さん (ライター エンバシーライティング認定講師 (一社)痴漢抑止活動センター代表)

2回目 コメンテーター：【支援機関】大前 藍子さん (大阪NPOセンター事務局)

沢田 薫さん (クレオ大阪中央 館長)

【メディア】反橋 希美さん (毎日新聞社 学芸部記者)

【企業】中須 雅治さん (近畿労働金庫 地域共生推進室)

日時：1回目 平成29年8月26日 (土曜日)・2回目 9月9日 (土曜日) とともに、13時～16時

会場：クレオ大阪中央 (地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」より徒歩約3分)

定員：40名 (申込先着順・各回申込可)

対象：地域活動・社会活動に参画する意欲を持つ女性 ※2日目は、行政、NPO、支援組織、マスコミ関係者も可

申込：電話・FAX・メールにて、イベント名・氏名・連絡先 (電話・ファックス番号) を事務局へ。

## ミニサロン **参加無料**

拠点に人が集まり、知り合うきっかけになる、ミニ講座やおしゃべり会を随時開催しています！拠点の雰囲気が知りたい方、他の人がどんなふう在活动中始めたのかを聞いてみたい方、自分の活動についても話がしてみたい方、情報交換したり一緒に作業をしたりしながら、みんなでおしゃべりしてみませんか。開催情報は、ホームページ、Facebookでご確認ください♪



女性のための防災サロン



これまでのミニサロン実施例

- おとなのぬり絵サロン
- 女性のための防災サロン
- コラージュ・サロン
- 私のおすすめ本・もちより会
- 子連れのお出かけ情報シェア会 などなど



私のおすすめ本もちより会

📢 私もこんなミニサロンを開催してみたい！というアイデア・企画がある方は、チャレンジ応援拠点へお問合わせください♪



イベント情報、拠点ニュースなどなど…  
各種、情報発信しています！

ホームページは  
こちらから



facebookは  
こちらから



LINEは  
はじめました！  
友だち登録はこちら



### 編集・発行 **女性チャレンジ応援拠点**

場所 大阪市天王寺区上汐5-6-25

**クレオ大阪中央** 4階

電話・FAX **06-7659-9640**

e-mail women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営団体 **大阪市男女いきいき財団**

🍀 **開室日** ※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ↓ 12:30	18:00 ↓ 20:00	13:00 ↓ 15:00	10:30 ↓ 12:30	13:00 ↓ 15:00

開室時間内は自由に入退室いただけます。お気軽にお立ち寄りください。

